NPO 法人東京ＹＷＣＡ福祉会 通信

12 号

2022 年 8 月

特定非営利活動法人東京ＹＷＣＡ福祉会
<事務局>〒174-0043　板橋区坂下 1-34-25　公益財団法人東京ＹＷＣＡ板橋センター内　　TEL03-5914-1854 FAX03-5914-1852
URL https://ywca-fukushikai.tokyo/

Y's ホーム ハイホー 共同生活援助（グループホーム）

身体障がい、発達障がい、知的障がいのある男性７名が生活しています。

「ハイホーは安心できる場所」

ハイホーに来て５年半が経ちました。

自分にとってもみんなにとっても安心できる場所なので、常にリラックスして、それぞれの人が自分に自信が持てるので、いい場所だと思います。

スタッフもいいし、否定的なことは言わないし、人を批判したりしないところがいいです。お風呂に入る時間も食事をする時間も、寝る時間も決められてなく、自分で決めれるのがいいところです。例えば（お風呂に午後）６時頃入りたい人がいたら、皆それに対してあけてくれます。

■ミーティング

お互いに気配りをして、言いたい意見があったら、お互いに聞きあう。聞き合うことで、お互いが尊重できます。もし言えない人がいたら、それはスタッフが助言しないで、言うまで待っていてくれるのはとてもいいです。

■防災訓練

何十回も経験を積んでいて、例えば地震を想定したり、水害を想定したり、火災を想定したりしてきました。何回もやっているうちに自分たちで判断でき、迅速に避難できるように身体が慣れてきました。

■余暇活動

「三輪アート」を１か月に１回やっていて、みんな自由に描いてよくて、全員参加しなくてもいい。長く描いている人もいれば、すぐやめちゃう人もいます。その時間自由に楽しんでいます。

■料理

常味さん（世話人）が来て、美味しくつくってくれるから、みんな笑顔になれます。

（鈴木　大知）

8 月に誕生日を迎えた方の誕生日会が行われました。利用者皆で誕生日を祝福し、とても良いひとときを過ごしました。

Y's ホーム　ハイホーの最近の様子

7 月 11 日にハイホーではデリバリーでの食事を行いました。

5 月のハイホーミーティング(利用者全員参加のミーティング)で「デリバリーでの食事をしたい」と提案があり意見を募ったところ、全員が賛成されました。また、「日程を大まかに決めておこう」と話し合われ 7 月中に行うことに決まりました。6 月にはメニューについて話し合い、それぞれ食べたい物の意見を出し合いました。最終的にはケンタッキー・フライド・チキンとお寿司に決まり、全員が揃って食事が出来る日を調整し 7 月 11 日に決定しました。

注文・集金・支払いなどの担当を決め、利用者全員が協力して準備を行い、職員はそれぞれの担当の利用者を補助しました。1 週間前にパソコンでオンライン注文を行い、以前から利用者全員で貯めていたイベント費から費用を引き出しました。当日は担当の利用者がデリバリーの受け取りを行いました。

デリバリーの食事を全員がとても楽しみにされて数日前から興奮して待たれており、当日は全員が食卓に着く前にフライングしかけた方もおられました。感染対策により普段は全員バラバラに、なるべく接触を避けて食事をされておりますが、久々に全員で顔を合わせて食事をしたのでとても新鮮な食事となりました。またそれぞれ好みがあるので、仲間同士好きなもの嫌いなものをお互いに交換して食べられており全員がとても楽しく食事することが出来ました。　（生活支援員　前田雄太）

Y's ホーム ハイホー　夜勤または遅番・宿直スタッフ募集中！

仕事内容：入居者の生活支援
（車いす利用者の入浴、排せつ、移乗の介助、朝食の準備(半調理品)・提供、朝の支度の手伝いなど）
詳しくはお問い合わせください。　事務局（TEL　０３―５９１４―１８５４）

Y's コート ゆい　就労継続支援 B 型（働く場）

4 月 1 日、新メンバーを迎え入れる先輩利用者と私たち職員はワクワクドキドキしながら当日を迎えました。もちろん 4 人の新メンバーは私たちの想像を超える位の不安を抱えながらも希望に満ちた気持ちで当日を迎えたのではないでしょうか。あれから約 5 ヶ月が経ちました。各々個人差はあるものの、大分ゆいの生活に慣れたように感じています。すっかり先輩と馴染んで、休憩も楽しそうに笑顔で過ごす様子も日常の姿となりました。先輩たちもすぐにそして自然に仲間として受け入れ、元気がない新メンバーに声をかけ勇気づける姿等を見ることもあります。新メンバーが加わっても何の違和感もなく「ゆい」という「和」が創られています。利用者のほとんどが板橋特別支援学校の卒業生のため仲間意識が強いのかと考えることもできますが、決してそうではありません。たった 1 人、他の学校から入所したメンバーがいますが、すっかり馴染んで仲間となっているのです。ゆいの皆はとてもしなやかなのです。

そんな中、7 月 16 日、3 年ぶりに板橋特別支援学校の夏祭りが開催され、模擬店販売として参加させていただきました。久しぶりに先生や友人たちと再会し、皆とっても楽しそうでした。販売時は日頃の販売力が発揮され「私たちが作りました」等のアピール力、元気な挨拶等々、母校に逞しい卒業生としての姿を披露してきました。現在のメンバーになり、まだ 5 ヶ月。これからも益々充実した生活を送り、楽しい思い出を作っていくことでしょう。　（サービス管理責任者　龍野俊美）

カフェＪＯＹ
お弁当・プチデザート販売
月～金（祝日お休み）
11 時３０分～13 時 30 分
（完売になり次第終了）
※店内イートインスペース有

坂下ゆい商店
手作りアクセサリー
（ブローチ・ブレスレット）
販売中
「吸い取る小ゾウ」好評販売中
普段のお料理の**油処理**に
ちょうど良いサイズです

軽作業ご依頼ください
封入・シール貼り・
ＤＭ等挟み込み、分別 etc.
承ります。

これらの収益が「Y's コート ゆい」利用者の工賃(お給料)になります。応援をお願いします！

<カフェ JOY　6 周年感謝ウィークを実施します>

9 月 21 日にカフェ JOY は 6 周年を迎えます。6 周年を記念して感謝ウィークを実施します。
期間：9 月 5 日（月）～9 月 9 日（金）
期間中お弁当を購入して頂くと、お楽しみくじ引きに挑戦して頂けます(空くじなし)。
◆「坂下ゆい商店」の商品（ブローチ・ブレスレット・吸い取るゾウ etc.）・中古雑貨の販売もいたします◆
ご来店お待ちしています。

<「坂下ゆい商店」の商品は、以下のところでもお買い求め頂けます>

都営三田線「高島平駅」	「スマイルマーケット高島平駅ナカ店」（西口改札外）にて常設販売しています。（開店時間：平日 11:00～19:00）	
KURUMIRU（くるみる）	東京都庁店（パスポートセンターそば）	常設販売です
板橋区役所 1 階ロビー	「スマイルマーケット」に毎月第 4 水曜日 11:30～14：00 に出店しています。	

今後、**秋・冬・クリスマス**デザインのブローチが登場予定です。どうぞお楽しみに！

<2021 年度事業報告>　2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

事業名	Y's コート ゆい	Y's ホーム ハイホー
事業内容	2021 年度は、開設 5 周年を迎えた就労継続支援 B 型事業所「Y’s コート ゆい」、障がい者グループホーム「Y’s ホーム ハイホー」の運営に当たった。 新型コロナウイルス陽性、濃厚接触の利用者・職員があったが、日頃の感染予防対策と利用者および家族の自宅待機の協力により、感染拡大することはなかった。	
	「Y’s コート　ゆい」では、発達障がい、知的障がいのある利用者(年間平均実人数 14.25 名)へ、「カフェ JOY」での作業、受注作業、自主生産品の作成作業を通して、就労に必要な支援を行った。 地域のイベント等の開催がなく販売機会の減少は続いたが、カフェ JOY での弁当販売と店先での定期的なバザール開催により自主生産品等を販売し、利用者の接客訓練及び工賃の確保に努めた。 また、利用者が就労や社会生活で必要となる技能を得ることを目的に、SST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)を行った。 第三者評価を受審した。	「Y’s ホーム　ハイホー」では、身体障がい、知的障がい、発達障がいのある 7 名の入居者の生活支援に当たった。月 1 度の職員会で綿密に情報共有して支援に当たり、家族や関係機関との連携も丁寧に行った。 地震、水害等様々な状況を想定した避難訓練を定期的に行った。 通所・通勤先での新型コロナウイルス感染による利用者の通所・通勤自粛の対応のために日中も支援に当たる等、新型コロナウイルスへの対応と感染予防に努めた。 第三者評価を受審した。
利用者数	14.25 名(年間平均)	7 名
職員数 (3 月現在)	9 名	8 名
(内訳)	施設長：1 名（Y’s ホーム ハイホー兼務） サービス管理責任者：1 名(常勤) 職業指導員：6 名(常勤 1、非常勤 5) 生活支援員：1 名(常勤)	施設長：1 名（Y’s コート ゆい兼務） サービス管理責任者：1 名(常勤) 世話人：2 名（常勤 1、非常勤 1） 生活支援員：4 名(常勤 1、非常勤 3)
事業費(支出)の金額 (千円)	２７，９０９	２９，２２１

<2022 年 7 月 5 日　総会報告>

出席者数：出席者 9 名（内 ZOOM 参加 3 名）、委任状 16 名　＜正会員数 28 名＞
時間：13 時 30 分～15 時 40 分
以下の議案について審議を行いました。
・2021 年度 事業報告および決算報告 ⇒承認
・2022 年度 事業計画および予算 ⇒承認

募金活動のお礼

多くの方から温かいご支援を頂きました。心より感謝申し上げますとともに、ご報告申し上げます。

2021 年 12 月 1 日～2022 年 7 月 31 日の期間にご寄付頂いた皆様（敬称略・五十音順）

個人				団体・グループ	物品寄付		
赤川　惠子	及川　津紀子	田島　道子	堀内　香代子	ﾊﾞﾚﾝﾀｲﾝﾊﾞｻﾞｰﾙ	猪股　芳子	寺岡　祥子	
池上三喜子	大庭　幸	楯石　てる子	町田　洋子	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ一同	川﨑　洋子	福永　理絵	
磯野　由紀子	葛生　禎子	辻　由郎	松山　恵一	LA-ON 結	楠本　淑子	松山　智美	
市川　由美子	坂口　和子	鍋田　都	横田　千恵子	（河合ひとみ）	黒田　正純	室伏　彩	
岩村　太郎	佐藤　浩子	新田　和子	和田　稲子		関根　律子		
榎本　清子	島﨑　真奈美	長谷川　孝一	渡辺　美智子		田中　美子		
蛯原　まゆみ	鈴木　正子	長谷川　初枝	匿名 5 名		塚本　悦子		

寄付金合計：　611,420 円

ご支援をお願いいたします

○NPO 法人東京ＹＷＣＡ福祉会の**会員になる**⇒屋台骨である、組織を支えることにつながります。

＜会員の種別＞　□正会員(個人)　年会費 3,000 円
□正会員(団体)　年会費 5,000 円
□賛助会員(個人・団体)　年会費 1 口 2,000 円

※正会員は、総会における議決権があります。
※会員は、年度制です(4/1～3/31)。

＜入会方法＞　入会申込書の提出と、年会費のお支払が必要となります。
事務局までお問合せください（TEL 03-5914-1854）

○**ご寄付のお願い**　障がいのある人々の「働く」と「暮らす」を支援する事業を支えるために、温かいご支援をお願いいたします。

＜方法＞　【現金】　事務局(東京ＹＷＣＡ板橋センター内)にてお受けします。

【銀行振り込み】　・東京信用金庫　**志村支店（普）４０６２５６７**
・三菱 UFJ 銀行　**志村支店　（普）０１９４００８**
・ゆうちょ銀行　**１００１０　３１１０８３１１**
口座名義：「特定非営利活動法人東京ＹＷＣＡ福祉会」
トクヒ）トウキョウ ワイダブリューシーエー フクシカイ

お振込みの前に、寄付申込書をお送り頂くか、ご一報くださいますようお願い申し上げます。

＊お振込みの場合、払込時の控えをもって領収証に代えさせて頂きます。
寄付金控除制度の活用をお考えの方は、**お振込の前に**事務局までお問い合わせください。

コラム『一粒の麦』　「佐々木浩子さんを偲んで」

福祉会元理事であり、長年東京ＹＷＣＡ専門学校社会福祉科主任・また、校長をされた佐々木浩子先生が、去る 6 月 1 日、肝臓がんのために天に召されました。

佐々木先生は、社会福祉主事養成の各種学校から、介護福祉士資格ができ、養成校として介護福祉士を養成する専門学校へと移行させ、先駆的な働きをされました。

ＹＷＣＡの学校では、ひとり一人が、個人として、また、専門職として立っていく教育を受けて、自己成長をしていきました。佐々木先生や、仲間たちとのきずなはとても深いものがあり、ひとり一人の人生を豊かにしていると実感しています。

福祉会ができるとき、別法人設立には、不安もありました。しかし、佐々木先生は、その必要性をしっかりとらえていらして、私に何ができるかしらと言いながらも理事を引き受けてくださいました。どれほど心強かったことでしょう。

福祉会の運営は、私募債を集めて行っています。2021 年度末の決算で、ようやく、運営の目途がたってきました。佐々木先生が、もういいでしょう？と理事辞退を申し出られました。佐々木先生、本当にありがとうございました。私たちは、後を引き継いでまいります。どうぞこれからも見守っていてください。

理事長　新田和子